

平成25年度  
一般財団法人調布市武者小路実篤記念館  
定時理事会（第1回）

議 事 録

一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館

平成25年度  
一般財団法人調布市武者小路実篤記念館  
定時理事会（第1回）議事録

日時 平成25年5月1日（水）  
午後1時30分 開会  
場所 調布市文化会館たづくり  
1002学習室

出席役員（4人）

理事長	福田	宏
理事	花角	美智子
理事	高野	千尋
理事	小塚	美江
監事	新井	七吾
監事	鈴木	宏昌

事務局 事務局長 塚越博道

事務局 副主幹 福島さとみ  
事業係長 伊藤陽子

（午後1時30分 開会）

## [議事次第]

-理事長あいさつ-

### 第1 議題

#### (1) 審議事項

- ア 議案第1号 定時評議員会へ提出する理事候補者について
- イ 議案第2号 定時評議員会へ提出する理事候補者について
- ウ 議案第3号 定時評議員会へ提出する監事候補者について

#### (2) 報告事項

- ア 報告第1号 平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について
- イ 報告第2号 平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について
- ウ 報告第3号 調布市議会への経営状況報告について

### 第2 その他

○事務局 皆さん、こんにちは。それでは、定刻になりましたので、平成 25 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館第 1 回定時理事会を開催いたします。

私は、4 月 1 日付で財団事務局長を拝命しました塚越でございます。進行役をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本財団は、4 月 1 日付で正式に法人登記手続を終え、今までの調布市武者小路実篤記念館運営事業団から、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館として新たなスタートを切りましたので、改めてご報告をいたします。

なお、本日は、お手元に定款、役員名簿、職員名簿及び当日配付の資料をお配りさせていただいておりますので、ご確認をしていただければと思います。

それでは、まず初めに、理事長からご挨拶をお願いしたいと思います。

○福田理事長 福田でございます。どうもよろしくお願いいたします。

武者小路実篤記念館が 1985 年にオープンしてから既に 28 年を経過して、間もなく 30 年を迎えるということになりました。この間、市からの厚いご支援でここまで立派にやってこられたということも、また、市の職員の方々あるいは近隣の方々、あるいは市民の皆さんのご支援でここまでやってこられたということは、非常に喜ばしいことかと存じております。

また、特に、全国の武者小路実篤あるいは白樺派とか新しき村といったものの研究者、あるいはそのファンにとっての中核的な施設になり得たということも、この記念館の 28 年の歴史の中で培ってきたものかと思えます。そういう意味でいいますと、あそこの公園の土地、建物並びに遺品の数々を残してくださった実篤さん、あるいはその奥様も喜ばれていることかと思えます。

今回、今、お話がありましたように、事業団から今度は一般財団として正式に発足をし、今日初めての理事会を開くことができました。皆様には引き続きお力を得たいと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局 ありがとうございます。

それでは、理事会を開会いたします。議事の進行は、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第 33 条の規定により理事長が行うことになっておりますので、福田理事長、よろしくお願いいたします。

○福田理事長 それでは、私が議長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、本日の理事会の効力について、事務局からご報告をお願いします。

○事務局 本日は、理事 4 人の全員の出席を確認しておりますので、一般財団法人調布

市武者小路実篤記念館定款第 34 条に定める定足数に達していることをご報告いたします。

○福田理事長　それでは、お手元の議事次第のとおり、進めてまいります。

初めに、議案第 1 号「定時評議員会へ提出する理事候補者について」を議題といたします。

事務局から、提案説明をお願いします。

○事務局　本財団が 4 月 1 日から設立するにあたりまして、設立時の理事につきましては既に登記が完了しておりますが、調布市の 4 月 1 日付人事異動により新たに理事をお願いする必要が生じたので、理事会で候補者を決議し、評議員会でのご議決をいただきたいと考えております。

議案第 1 号をごらんいただきたいと思います。新たな理事候補者は、お手元の資料にありますとおり、案というものがそうですが、調布市教育委員会教育部長の宇津木光次郎氏でございます。よろしくご検討くださいますようお願いをいたします。

○福田理事長　ただいま事務局から、新たな理事候補者について説明がありました。ご質問はございませんでしょうか。

(「なし」)

○福田理事長　特に、ご質問、ご異議等ございませんでしたら、そのように決定させていただきます。

次に、議案第 2 号の「理事候補者について」、事務局から提案説明をお願いいたします。

○事務局　もう 1 人の理事につきましても、4 月 1 日付の人事異動により新たに理事をお願いする必要が生じた。理事会で候補者を決議し、評議員会でご議決をいただきたいと考えております。

議案第 2 号をごらんください。また、あわせて、案の理事名簿をごらんいただきたいと思います。新たな理事候補者は、塚越博道氏でございます。よろしくご検討くださるようお願い申し上げます。

○福田理事長　ただいま事務局から、新たな理事候補者について説明がありました。ご質問はございませんでしょうか。

(「なし」)

○福田理事長　特に、ご質問もないようでございますので、そのように決定させていただきます。

なお、塚越博道氏には、評議員会の決議後に、常務理事としてお願いするとともに、事務局長を兼務していただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

次に、議案第3号の「監事候補者について」、事務局から提案説明をお願いします。

○事務局 当財団監事につきまして、調布市の4月1日付人事異動により新たに監事をお願いする必要が生じたので、理事会で監事候補者を決議し、評議員会でご議決をいただきたいと思いますと考えております。

議案第3号及び理事名簿案をごらんいただきたいと思います。鈴木監事の後任監事候補者は、調布市教育委員会教育部社会教育課長の小柳栄氏でございます。よろしくご検討くださいますようお願いいたします。

○福田理事長 ただいま事務局から新たな監事候補について説明がありました。ご質問はございませんでしょうか。

(「なし」)

○福田理事長 特に異議ないようでございますので、そのように決定させていただきます。

以上で、審議すべき事項は全て終了いたしました。

それでは、次に報告事項に移ります。報告第1号「平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画」及び報告第2号「平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について」を議題といたします。

報告第1号及び報告第2号を一括して説明していただいた後、質疑をしたいと思いますですが、いかがでしょうか。

(「異議なし」)

○福田理事長 異議ないようでございます。そのように決定させていただきます。

それでは、事務局より、報告第1号及び報告第2号を一括して説明してください。

○事務局 それでは、初めに、報告第1号「平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画」につきまして、ご説明をさせていただきます。事業計画をごらんいただきたいと思います。

まず初めに、平成25年度は、平成4年に発足されました調布市武者小路実篤記念館運営事業団が4月1日より法人化され、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館として発足する1年目にあたります。

財団発足にあたり、次のように事業目標を設定するとともに、組織体制を定めて運営してまいります。

事業目標第1. 武者小路実篤の顕彰。年8回の展示事業と移動展、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集・整理・保存、調査研究を継続的に実施いたします。

2. 武者小路実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報発信基地）。実篤の

顕彰をベースに、情報収集発信基地としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村の研究施設」を目指します。

3. 次代を担う子供へのアプローチと利用の拡大。子供への積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と郷土愛を育む取り組みを実施いたします。

4. 武者小路実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開。武者小路実篤記念館と実篤公園を、より効率的で柔軟な運営体制の構築を目指し、公園を活用した新たな事業展開など、さらなる市民サービスの向上を図ります。

組織・運営体制でございます。1. 安定した組織づくりと組織の透明性、信頼性を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

2. 武者小路実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するために、その実現するための事業を継続性をもって実行いたします。

3. 武者小路実篤研究を継続していくために、学芸員を中心とした人材育成を促進いたします。

4. 財団としての自主性を発揮し、事業の幅と奥行きを広げ、良質な市民サービスを提供いたします。

平成 25 年度は、一般財団法人としての初年度にあたり、次のとおり事業活動を進めてまいります。

昭和 60 年に調布市武者小路実篤記念館が開館以来、これまで 28 年間にわたる武者小路実篤記念館の展示、資料収集、普及事業、情報提供、調査・研究などの成果を踏まえ、「武者小路実篤の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与するため」という実篤記念館及び調布市武者小路実篤記念館運営事業団の設立理念を継承し、事業目標を達成するため多彩な事業活動を展開してまいります。

展示・普及事業を中心に取り組むとともに、調布市の委託業務を中心としつつ、施設管理の面についても実篤記念館に協力し、来館者等の声を参考にしながら、事業内容の創意工夫を重ね、より一層充実した運営を心がけてまいります。

また、所蔵作品や資料という貴重な財産を後世に伝えるため、資料の整備・保存の作業を進め、収蔵品データベースの充実を図るとともに、平成 24 年より 2 カ年にわたる情報提供システムのリニューアル作業に取り組み、稼働いたします。

ミュージアムグッズ販売事業では、来館者の要望に応えるグッズ内容の充実を図るとともに、自主財源を増やすことにより、自主事業のさらなる充実を進めてまいります。

また、「ぐるっとパス 2013」事業を市より受託し、この事業を通して実篤記念館事業を周知し、広報の充実に取り組みます。

財団の運営にあたっては、効率的かつ円滑な運営を目指して、組織や運営体制の強化を重点的に取り組んでまいります。また、実篤記念館の効率的な運営と市民サービスの維持、向上を目指し、事業と施設管理を一体的に行う指定管理制度の導入を検討してまいります。

それぞれの事業について、主な事業をご説明いたします。6ページをごらんいただきたいと思います。

まず、展示事業でございます。特別展年2回、春、現在開催されております〈「託された思い」～調布市武者小路実篤記念館 所蔵コレクションの歩み～〉、秋には〈「画道精進」～椿貞雄と実篤～〉を開催いたします。

また、テーマ、企画展として、年5回を開催します。展示事業で平成25年度特筆するのは、こちらの今、会場となっております調布市文化会館たづくりの1階展示室で、実篤グッズ展という仮称でございますが、移動展を開催いたします。展覧会の日程は、10ページに記載しておりますので、ごらんいただきたいと存じます。

次に、2. 普及事業でございます。実篤やその活動をテーマとした記念講演会の開催や講座を実施いたしております。記念講演会は、さきにご紹介いたしましたたづくりでの移動展の企画とリンクした形で開催する予定でございます。

また、展示解説を展覧会ごとに開催いたしたり、団体解説、ガイドツアーとあわせて利用者の要望に応じてまいります。

さらに、公民館や桐朋学園等の地域施設と連携した事業に取り組んでまいります。

また、自主事業として朗読会を開催いたします。これまで12回を数えておりまして、好評をいただいている朗読会でございます。

次に、学校教育との連携でございます。子供向けの解説シートの作成や夏休み講座の充実ということで、夏休みの講座で調べ学習や創作、芸術鑑賞などのキッズプログラムの充実を図ってまいります。

また、学校図書館へ実篤関連の資料や情報の提供をしてまいります。こちらは、昨年度、図書館の協力で一部の中学校で展示コーナーなども設けていただきましたので、こういった活動を今後も幅広くやっていきたいと考えております。

次に、普及事業のほうで、4番目でございますボランティア活動の充実でございます。現在、25名が登録しておりますが、充実が望まれるガイドツアーのボランティアガイドを養成する講座を開催してまいります。

次に、広報活動でございます。ポスター、チラシや展示案内などの作成のほかに、実篤記念館ホームページの運用と情報提供の充実ということでございます。ホームページは、平成25年4月1日より、新しくリニューアルしたものが開設されておりますので、ごらん



いただきたいと存じます。

また、報道機関への情報提供と各種取材への対応を積極的に行ってまいります。

友の会事業でございます。友の会ニュースを年6回、隔月で発行しております。また、交流会として、2月に毎年観梅会の開催をしております。こちらは、地域連携事業として桐朋学園等と協力したコンサートを実施しております。

ぐるっとパス事業でございます。東京の美術館、博物館等共通入館券実行委員会、いわゆる「ぐるっとパス 2013」に参加し、展覧会や事業の広報、普及に努めてまいります。

次に、3の資料収集・保存でございます。資料収集は、現在、調布市で収集されますので、財団はさまざまな書画や原稿、図書などの関連資料の収集のための情報を集め、調布市へ提案してまいります。

資料の整理・保存でございます。収蔵した資料を整理し、良好な状態で保存し、また、細かな点検を行い、常に状態を把握してまいります。

記録映像でございます。文学作品1作品をテーマとした鑑賞のための映像作品を制作してまいります。

収蔵作品の資料等の修復、複製でございます。こちらは所蔵資料の適切な保存・管理を図るために、資料の状態の把握に努めるとともに、計画的に修復作業を進めてまいります。あわせて、実篤記念館の貴重な資料の複製を制作し、展示事業に活用してまいります。

収蔵品データベースの充実でございます。実篤記念館が収蔵する作品・資料、実篤に関する情報の入力作業を進め、収蔵品データの充実を図るとともに、展覧会やレファレンス業務、収蔵管理等に活用してまいります。引き続き未整理の収蔵資料のデータ化、収蔵品情報の充実に努めてまいります。

次に、4. 閲覧サービス・情報公開事業でございます。一般閲覧は閲覧室における閲覧・レファレンス業務、開架図書の管理を行ってまいります。

また、木曜日と最終水曜日が休室の閲覧室でございますが、展示室の休室と重なる場合には、閲覧室を開室し、サービスの向上に努めてまいります。

特別閲覧は、閉架図書、貴重な特別資料の閲覧・レファレンス業務でございます。

情報提供システムの運用でございます。文字・画像・映像情報を収録した情報提供システム、収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページを総称いたしておりますが、これらを運用し、多岐にわたる情報の公開に努め、利用の促進を図ってまいります。

情報提供システムのリニューアル作業でございます。平成25年度情報提供システムの全面的な機械の入れ替えに伴い、平成24年度より2カ年にわたり、システム全体のリニュー

アル作業に取り組み、稼働してまいります。稼働は平成 25 年 12 月の予定でございます。

次に、調査・研究でございます。「実篤、白樺、新しき村」の情報発信基地としての役割を担うために、特別展にかかわる調査のほか、武者小路実篤、関連作家、収蔵品を中心に調査・研究及び情報の収集に取り組んでまいります。

また、実篤の作品発表に関する情報を集め、記録し、作品リストの充実を図ってまいります。

物品販売事業でございます。ミュージアムグッズの物品販売に取り組み、自主財源を増やすとともに、これらの収益は自主事業、例えば朗読会や講座などの充実や魅力あるミュージアムグッズづくりに充て、普及事業をサポートしてまいります。

その他事業でございます。博物館学芸員実習の受け入れ、それから、写真貸出や特別撮影などへの対応、また、自主財源の確保のための広告料の確保などでございます。

施設関係といたしましては、窓口業務、休憩施設の運営、また、実篤記念館、公園、旧実篤邸の管理業務、調布市が現在行っておりますが、調布市の施設管理業務を協力してまいります。

事務事業でございます。財団化にあたりましては、円滑な事業と運営ができるように、組織や運営体制の強化、効率的な事務事業について重点的に取り組んでまいります。

また、実篤記念館と効率的な運営とサービス、市民サービスの維持、向上を目指し、事業と施設管理を一体的に行う指定管理制度の導入を検討してまいります。

公金収納業務でございます。入館料、市の頒布品の料金の収納業務を市から受託し、実施しております。

それから、会計事務でございます。公益法人会計に準拠した会計方式を取り入れ、財務情報の透明化を図るとともに、事業内容や経営状況をホームページ等で公表してまいります。

以降は、展覧会、休館日、展示室、閲覧室の休室日でございます。

以上でございます。

○事務局　　続きまして、報告第 2 号「平成 25 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について」、ご説明をいたします。

当予算は、一般財団法人としての最初の予算になりますが、事業計画と同様に平成 25 年 3 月 28 日に開催されました平成 24 年度第 2 回の調布市武者小路実篤記念館運営事業団理事会におきまして、既に予算が承認されておりますので、今回は報告ということになりますので、ご承知おきいただきたいと思います。

予算書をお願いいたします。本予算は、調布市からの補助金及び委託料により、記念館

事業を運営する一般会計と物品販売事業を中心として自主事業を展開する特別会計の2つの会計で構成をされております。

予算規模は、一般会計が7,730万2,000円、特別会計、8ページ以降になりますが、481万円の総額8,211万2,000円でございます。

1ページの一般会計の総括表でご説明をさせていただきます。収入は、事業運営にかかる人件費と事務費としての補助金が5,226万5,000円、前年度より515万3,000円の増加となっております。補助金のうち約86%が人件費という割合でございます。人件費につきましては、法人化にあたり、学芸員の後継者育成のため、常勤職員を1名増加するとともに、組織確立のために管理職を配置するなどの見直しを行ったことが主なものでございます。

次に、市からの業務委託にかかる委託料につきましては、2,488万7,000円、前年度より352万3,000円の増加となっております。これは市の基本計画に沿った情報提供システムの更新が平成25年度に本稼働する経費増によるものであります。

収入の補助金は支出の管理費に、委託料は支出の事業費にそれぞれ対応しております。

次に、諸収入につきましては、ぐるっとパスにかかる返還金、精算金で、繰越金につきましては決算時に残額を全額市に返還するため、予算計上はしておりません。

次に、支出でございますが、3ページの支出事項別明細書により主なものをご説明いたします。財団の管理運営に要する経費である管理費の予算額は5,226万5,000円でございます。人件費につきましては、非常勤職員を含めた財団職員11名の人件費として4,663万円を計上いたしました。昨年度より842万円の増加でございますが、先ほどの総括表のところでご説明申し上げましたように、学芸員の後継者育成のための常勤職員1名増と、組織確立のための管理職配置などの見直しを行ったことによります。

1給料1,925万1,000円は、事務局長以下常勤職員4名分の給料と事務及び学芸の臨時職員3名分の賃金でございます。

2報酬1,116万6,000円は、学芸専門員2名及び嘱託職員2名の報酬と通勤手当等でございます。

3諸手当924万1,000円は、期末手当が主なものでございます。

4法定福利費581万6,000円は、厚生年金保険料と健康保険料が主なものでございます。

3ページから4ページの2事務費につきましては、事務局運営経費として563万5,000円と、ほぼ前年並みとなっております。

1報酬では、新たに評議員の報酬を30万円計上いたしております。

その他には、次ページの6委託料160万7,000円は、業務用システムの運用監理、法人

化に伴い導入した事務系システム運用監理に関する委託経費でございます。

8 使用料及び賃借料 211 万 7,300 円では、法人化に伴う事務系パソコン機器の借上料を含む機器借上経費が主なものでございます。

11 公租公課費には、法人登記の変更等に必要な経費を計上いたしました。

その他の経費は、ほぼ前年並みでございます。

5 ページをお願いいたします。1 受託事業費につきましては、市からの委託事業の運営に要する経費でございます。予算額は 2,488 万 7,000 円、昨年度より 352 万 3,000 円の増加となっております。これは、情報提供システムのリニューアルにかかる経費の増によるものであります。

まず、1-1 普及促進委託費 1,107 万円につきましては、市の財政状況から事業費の縮減がございましたが、事業の見直しや細かい経費を削減することで 65 万 4,000 円の減額にとめることができました。

支出経費の主なものとしては、まず、3 の一般需用費 386 万 3,000 円のうち、展示にかかわるパンフレットやポスター、チラシの印刷経費として 287 万 9,000 円がでございます。

次に、6 ページの 4 役務費 193 万 4,000 円は、通信運搬料が 110 万円。

5 委託料が 443 万 2,000 円で、ホームページ関係の委託料が 135 万円となっております。

次に、1-2 運営委託費 1,381 万 7,000 円でございます。これは、収蔵品の管理や保存事業にかかる経費でございますが、一番大きい経費は、基本計画事業として平成 24 年度から平成 25 年度まで実施する事業でありまして、7 ページの 5 委託料 1,075 万 1,000 円のうち、情報提供システムリニューアルにかかる委託経費として 900 万円、及び 6 使用料及び賃借料 246 万 6,000 円のうち、機器リース料が 200 万円でございます。これにより市民サービスの一層の向上が図れることとなります。

以上、一般会計の収支につきましては、経費の大きな点についてご説明をいたしました。

次に、特別会計でございますが、8 ページをお願いいたします。特別会計の総括表でございます。特別会計は、物品販売事業が主たる事業であるため、毎年度予算編成に悩むところでございますが、より実績に近い額とさせていただき、収支予算額を 481 万円といたしました。

次の収支予算書の収入をごらんください。1 自主事業収入は 480 万円でございますが、2 の物品販売事業収入の 410 万円が主な経費でございます。他の経費は昨年並みでございます。

9 ページをお願いいたします。支出でございますが、1 自主事業経費は、事業団が独自で行う事業として 1 積立金、2 独自事業費、3 物品販売事業費の 3 本にかかる経費を 476

万円計上いたしております。

1の積立金は、特別事業積立金及び販売事業積立金に1万円の計上でございます。

次に、2独自事業費につきましては、ほぼ前年どおりといたしました。

3物品販売事業費につきましては、実績に近い額として394万円を計上いたしております。

3-2商品仕入経費195万円と3-5人件費90万円が主な経費でございます。昨年来、3年から5年以上前に作成した販売品に在庫切れが発生しており、この傾向はまだ数年続くと思われまます。今後も時代に即したグッズの開発に努め、法人の収益性を高める努力をしてまいります。

平成25年度予算につきましては以上でございます。

○福田理事長　ただいま事務局の説明が終わりました。報告第1号「平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について」、質疑、ご意見はございませんか。

（「なし」）

○福田理事長　特に、質疑、ご意見はございませんようですので、質疑を打ち切ります。

次に、報告第2号「平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について」、質疑、ご意見はございませんか。

（「なし」）

○福田理事長　特にないようでございますので、質疑を打ち切ります。

ご異議なしと認めまして、報告第1号「平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画」及び報告第2号「平成25年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について」は、了承することに決定いたしました。

次に、報告第3号「調布市議会への経営状況報告について」、事務局から説明をお願いします。

○事務局　「調布市議会への経営状況報告について」、資料はございませんが口頭でご説明をいたします。

一般財団法人として組織する前の、いわゆる任意団体としての調布市武者小路実篤記念館運営事業団は、調布市の監理団体として位置づけられてはいたものの、その経営状況については、調布市議会への報告は義務づけられておりませんでした。

しかし、このたび一般財団法人となったことにより、地方自治法第243条の3第2項の規定により、調布市議会に対して経営状況を報告する必要が生じました。

平成25年度につきましては、一般財団法人として新たにスタートする年でありまますので、平成25年度事業計画及び予算につきましては、5月31日から開会が予定されております平

成 25 年第 2 回調布市議会定例会に報告することとなりますので、ご承知おきいただければと思います。

以上でございます。

○福田理事長　ただいま事務局の説明が終わりました。本件について、質疑、ご意見はございませんか。

（「なし」）

○福田理事長　特にないようでございますので、以上で報告事項は全て終了いたしました。

次に、その他報告をお願いいたします。

○事務局　2 点ほどご報告いたします。まず、資料はございませんが、ただいま武者小路実篤記念館の運営につきましては、私ども財団が業務委託というような形で事業を企画し、運営をしているという状況でございますが、来年度、平成 26 年度に向けて、この館の運営全体を指定管理というような形でお受けしていきたいと、今そのように考えているところであります。

については、調布市の意向もお伺いしながら、必要な準備を進めていければというふうに考えておりますので、そういう点につきまして、何かご意見いただければと思っております。よろしくをお願いいたします。

○事務局　次に 2 点目で本日お配りいたしました、当日配付資料のご説明をさせていただきます。

封筒のほうに入っておりますが、こちらに定款の正式な原本のコピーを入れさせていただきました。また、現在、開かれております春の特別展〈「託された思い」～調布市武者小路実篤記念館 所蔵コレクションの歩み～〉の展覧会のチラシとパンフレット、それから、年間の展示計画と平成 25 年 3 月 31 日に発行いたしました館報の第 24 号を同封しております。

展覧会のほうは武者小路実篤の、私どもの記念館のこれまでいろいろな方々の思いをもって寄贈なり、購入させていただきました作品、資料のエピソードなどもご紹介しながらの展覧会になっております。

以上でございます。

○福田理事長　本日、予定しておりました案件は全て終了いたしましたので、平成 25 年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館第 1 回定時理事会を閉会とさせていただきます。大変ありがとうございました。

なお、本日理事及び監事の変更がございました。新たに理事、監事になられました宇津木理事、塚越理事、小柳監事がお見えになっていきますので、一言ご挨拶をお願いいたします。

宇津木理事、よろしくお願いいたします。

○宇津木理事　はじめまして。この4月から教育委員会教育部の部長を務めさせていただいております宇津木と申します。このたび、新しい理事に選任をされるという形で理事候補者として挙げていただきました。私としても、武者小路実篤記念館のさらなる発展に向けて、微力ではありますが貢献をしてみたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

○福田理事長　ありがとうございました。

では、塚越理事、よろしくお願いいたします。

○塚越理事　また、理事という職名も拝命いたしましたので、理事と事務局長という立場で、新しい財団のどういうスタートが切れるかというところを職員一同考えながら、いい財団になるように努力をしてみたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○福田理事長　よろしくお願いいたします。また、本日付で監事の交替もあります。辞任される鈴木監事よろしくお願いいたします。

○鈴木監事　1年間という短い期間ではございましたが、監事という任を務めさせていただきました。また、市の職員として、先ほどお話がございましたように、実篤記念館の今後の発展に微力ながら応援をしてみたいというふうに思っております。どうもありがとうございました。

○福田理事長　ありがとうございました。

新たに監事をお願いすることになっております小柳監事、お願いします。

○小柳監事　はじめまして。小柳栄と申します。この4月1日付で調布市教育委員会教育部社会教育課長を拝命いたしました。このたび、武者小路実篤記念館の監事候補ということになりましたが、私の力のできる範囲の中で、武者小路実篤記念館の発展のために尽くしていきたいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

○福田理事長　何分よろしく。ありがとうございました。

その他事務局から何かございますか。

○事務局　第1回目の理事会ということでありがとうございました。定時理事会というような名称で今後は運営していきますので、新しい理事、監事を含めて第一歩を踏み出したということになってまいります。

なお、本日はこの後、初めての評議員会も開催をされるということでもありますので、理

事の皆様、監事の皆様、ちょっと冒頭にご挨拶をする場を設けたいと思っておりますので、もうしばらくお待ちいただければなと思っております。

また、あわせて武者小路実篤記念館では、4月27日から先ほどパンフレットの紹介がありました春の特別展「託された思い」～調布市武者小路実篤記念館 所蔵コレクションの歩み～を開催中でございます。評議員会終了後にはなりますが、実篤記念館まで車でご案内をさせていただきますので、時間のある方はぜひごらんをいただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

○福田理事長 どうもありがとうございました。

○事務局 では、これで理事会を閉会します。ありがとうございました。

(午後2時10分 閉会)